

雲 峰

～令和3年度稲作特集号～

本年春から入居者の皆さんに少しでも喜んでもらえたらと稲作をはじめました
今回の雲峰は約半年間の軌跡をご紹介します

【発行所】

特別養護老人ホーム 眺峰園

〒694-0013

島根県大田市川合町吉永1025番地1

TEL : 0854-82-2830

FAX : 0854-82-2986

<https://www.ssw.or.jp/facilities/seniors/chohoen>



↑「どんどんちょうだい」と職員が追い付かない勢いでした



～田植え～

水にふれ

...

5月11日田んぼの土と水を入れたプランターを準備。あいにくの曇天でしたが田植えを開始しました。苗を手にするると一生懸命手植えをされました。水を含んだ泥の「匂い」や独特の「ヌルリとした感触」を懐かしむ方がたくさんおられました。

職員もプランターでの栽培は初めて。この時は収穫はできないかもしれないと密かに思っていました。



自然と共に過ごした：



↑泥の感触を確かめながら昔のお話をしてくださいました

↓6月24日の様子、分けつも進みます



土を耕し：



～出穂～

家で田んぼを作っている職員が管理してくれたかきもあり、8月2日に無事出穂しました。



素人の私に丁寧に教えてくださいました、師匠です！↓



もともとご近所同士で仲良くしておられたようでも話し作業もはかどります！



懐かしい感覚と共に……

秋

～稲刈り・脱穀～



↑完成した“えいじ”



↓鎌を持たれると手にグッと力を入れられます

実がつかかなかったプランターの稲を刈り、藁にしたもので「えいじ※1」作りをして稲刈りに備えました。
職員もえいじ初体験！お師匠様たちの懇切丁寧な指導のおかげで最後はプロ並みの腕前になりました。
「昔は一晩で何百本も作ったもんだ」と懐かしんでおられました。



↑眺峰園特製“なだら”完成

過ぎた日々を思い出す……

9月27日いよいよ待望の稲刈り、鎌で刈ってえいじで縛って、なだら※2にかけて。
なめらかな手つきでどんどん刈っていかれました。
ご家族にご覧いただけなのが残念なほど皆さん生き生きと楽しんでおられました。

※1藁縄のこと

※2ハデやハサなど地方によって呼び方は様々、稲を干す木組みの棚

10月12日脱穀を行いました。

川合町在住の方から「千歯扱き(せんばこき)」をいただき使用してみました。

櫛も用意しみんなで一粒も無駄にしないよう収穫しました。

初摺りは総務課でソフトボールとザルを使って地道に行いました。



そして原点回歸する心が戻る、あの頃へ...



10月27日収穫祭を行いました。精米してお米になったものをおにぎりにして、野菜たっぷりの味噌汁と共に食べていただきました。

眺峰園でできたお米だと伝えると「ほく、立派にできるとるな」と喜んでいただきました。

ピカピカの新米にたくさん笑顔が溢れました。



※眺峰園の米だけでは量が少なく精米できなかったため、ご協力者の方からいただいた米を追加して精米機にかけさせていただきました。

はじめは事務員の思い付きでスタートした稲作。みんなの知恵や人脈を駆使して何とか実りを迎えることが出来ました。

昔、機械もなく家族総出で行う田植えや稲刈りは、きつとたくさん苦労があり、それと同じだけ喜びや笑顔があったのだと思います。だからこそ今でも苗や稲を見ると体が自然と動きだされるのだと感じました。

「自分らしく、ふつうの暮らしを送る」そのほんの一端をお手伝いできたのかなと思える日々でした。

総務課 月森

Special Thanks

今回稲作を行うにあたり、たくさんの方にご協力いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます



【和田 良一】
初摺り・精米にご協力いただきました
米も提供していただきました



【森脇 康江】
千歯扱きをいただきました



【森 克彦】
土・苗・米を提供していただきました



【三浦 修】(当園運転手)
農業指導・監修

敬称略